

## 令和5年度9月卒業式 学長告辞（昼の部）

9月になっても真夏日が続き、観測史上「最も暑かった夏」と称された今年の夏もようやく終わり、秋めいてきました。キャンパスの様々な木の実も落ち始め、もうしばらくすると木々の葉も色付き、鮮やかな景色に変わっていくことでしょう。

学部の卒業、大学院の修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。  
また、今日まで皆さんを支えてこられたご家族や指導に関わられた皆様も喜んでいらっしやることと思います。心からお祝いを申し上げます。

本日は、教員養成課程4名、教育支援専門職養成課程1名、大学院教育学研究科・教職大学院1名、修士課程3名、合計9名が、それぞれ学士、修士の称号を授与されることになりました。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、愛知教育大学を代表して、祝福の言葉を述べさせていただきます。

皆さんが本学で学んだ期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波が何度も押し寄せ、思うような大学生活が送れなかったことと思います。ようやくこの半年間は、通常に近い大学生活が送れるようになり、それぞれに残された課題に取り組んだことと推察します。指導の先生方も大変な状況の中で、丁寧にご指導いただき感謝いたします。

まず、修士課程日本型教育グローバルコースを修了される3名の留学生の皆さん、日本での生活はいかがでしたか。物価が高騰し生活は大変だったと思います。そのような状況下でも日本の文化を体験すると共に、修士論文を書き上げられたことに敬意を表します。帰国後は、後輩の皆さんに、日本型教育グローバルコースの良さを伝え、進学を勧めるなど、本学との懸け橋になっていただくことを期待しています。

次に、教職大学院を修了される方は、学校現場で多くの実習の機会があったと思います。研究成果を広めていただけることを期待しています。

最後に、学部を卒業される3名の皆さんは様々な事情で卒業が遅れました。

皆さんと一緒に入学した多くの人は、既に社会に出ている訳です。少し違った大学生活を送ったことと思います。通常とは違う「卒業」という人生の結び目を付けた訳です。ぜひ、このことをプラスと考え、活かしてほしいと思います。明日からの未来に向けて、自分らしく、自分ならでの人生を切り拓いてください。私たちは応援しています。

さて本学は、今年創基 150 周年を迎えました。1873 年に名古屋市に開設された「愛知県養成学校」が本学の前身ですので、今年 2023 年で 150 年となります。そんな記念すべき年度に卒業・修了できることを幸運とと思ってください。11 月 19 日開催の記念式典まで 2 か月を切っています。現在急ピッチで最後の仕上げをしている最中です。今後も日本の教員養成の中核大学としての役割を果たしていきたいと思ひます。その一つに、私が学長に就任して、キャッチフレーズとして「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」を掲げ、令和 3 年 3 月に策定した本学の中長期ビジョン「未来共創プラン」があります。現在、実行に移しているところです。卒業・修了後、それぞれの立場で協力いただきたいと思います。

最後に、本学での学びを礎に、健康に留意され、大きく羽ばたかれることを祈念いたしまして、卒業・修了にあたっての告辞といたします。

令和 5 年 9 月 29 日

愛知教育大学  
学長 野田 敦 敬